
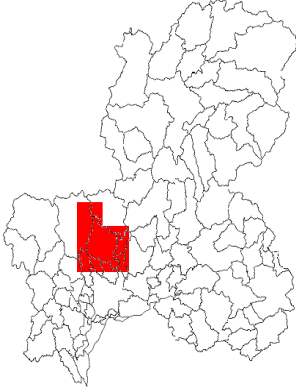


ミヤマクマヤナギ		<i>Berchemia pauciflora</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅰ類
		クロウメモドキ科	
選定理由	既知のすべての生育地で生育条件が著しく悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	写真(岐阜県博物館) 標本	
形態の特徴	落葉低木で直立し、高さ2-3m。葉は互生し、長さ2.5-4cm、卵形または楕円形。葉裏の脈上に淡黄褐色の短軟毛がある。花は小さな総状花序につき、分枝せず、花数も少ない。		
生態的特徴	山地の沢沿いの湿潤地に見られる。花期は8月。		
分布状況	日本固有種で、本州(東北地方南部～中部地方)に分布する。岐阜県においては県南中部に見られる。		
減少要因	生育環境である落葉広葉樹林の伐採。		
保全対策	現状の生育地の保全に配慮が望まれる。		
特記事項			
参考文献	「日本の野生植物 木本Ⅱ」(佐竹義輔ほか(編), 1989年)		

文責: 奥田浩之